

コロナに負けずひろがる活動『相模が丘ふれあいネットワーク』

新住民が比較的多い相模が丘地域で令和元年に発足した住民による有償の家事支援活動は、緊急事態宣言下もサービス提供を継続しました。発足をサポートした生活支援コーディネーター（座間市社会福祉協議会）が活動の様子をご紹介します。

日常生活の

ちょっとした困り事を解決するために



平成 29 年

生活支援コーディネーターとともに、5年後・10年後の生活を想像して話し合いを始める



平成 30 年

みんなの『ちょっと困った』を調査
自分たちにできることを考える

拠点がない・資金もない。でも今やるべき！
携帯電話ひとつで始めた助け合い活動

相模が丘ふれあいネットワーク

協力会員が家事等支援 利用料30分以内300円



【1年目：令和元年度（11～3月）】

協力会員：31名
賛助会費：37,000円
寄付：520,000円
サービス総件数 95件
内訳）短時間サービス 55件
通常サービス 40件

設立間もなくコロナ禍に…

話し合いの結果、
利用を希望する人がいる限り
活動継続することに！！

協力会員と利用者が、
利用の緊急性と互いのコロナ観を
確認したうえでサービス提供

コロナ後を見越して

令和3年2月

対象地区の全世帯に広報紙を配布
(約12000世帯、協力会員と地区社協で実施)

反響 協力会員 +3人
(6月末時点) 賛助会費 30,000円、寄付 50,000円

【2年目：令和2年度】

協力会員：33名 (+2人)
賛助会費：33,000円
寄付：25,000円
サービス総件数 272件
内訳）短時間サービス 164件
通常サービス 108件